

革新都政をつくる会

通信

no,13 2020.06.28

発行：革新都政をつくる会事務局
TEL 03-5978-4031 FAX 03-5978-5052
HP <https://www.kakushintosei.net>

対話で宇都宮勝利を切り拓こう



写真提供：しんぶん赤旗

前川喜平さんが応援にかけつける

宇都宮候補への支持の輪がおおきくひろがっています。27日には文部科学省元事務次官の前川喜平さんが、京王線調布駅の街頭演説にかけつけ、宇都宮さんの支持を訴えました。前川さんは、新型コロナウイルス感染拡大で長期間の一斉休校をおこなった政府や東京都の対応について、「生徒の健康被害が大きくなった」「安倍首相や小池知事の対応は間違いだった」ときびしく批判。人権を守ることを訴えている宇都宮さんが「知事になった暁には、学校が自由でのびのびとした場になる」と述べ、宇都宮候補の都知事実現にあつい期待を表明しました。



28日午後、銀座4丁目で立憲民主党枝野幸男代表、日本共産党志位和夫委員長、社民党福島瑞穂党首と前内閣総理大臣野田佳彦衆院議員が宇都宮候補の応援に駆けつけました。

団体・地域からの活動報告

営業と生存権をかけた選挙 各民商で支持決議ぞくぞく

（東商連都知事選二コースから）

今回の選挙は、国や都の支援が不十分な中、コロナの影響で廃業を決めた定食屋さんが出るなど中小業者の営業と生活がかかった選挙と訴えています。自動車修理の会員さんが「日頃政治の話をしない息子が、チラシやニュースなどを見て今回は宇都宮さんしかないんじゃないか」と話していた。と電話対話の中で嬉しそうに話していた！という経験も生まれています。一刻も早く会員に声をかけ切ろうと意思統一しています。

（八王子民商）

東京都の協力を受けることができず、人の中には小池知事名で決定通知書が届いたため「小池さんからもらった」と思っているともいます。役員は「そもそもは我々の税金で、世論に押されて作った制度。東京都の給付金は全業種の3分の1しか対象になっていない」ことを伝え「宇都宮さんで切り捨て都政を変えよう」話をしています。

（足立西民商）

全商連事務局の山路さんの応援も受けて会員への電話入れに奮闘しています。武田会長も会員や自分のつながりで40人以上に宇都宮支持を広げています。落合支部では8人で1000枚のビラまきも行いました。

（新宿支部）

障害者の願いを実現する都政を 電話で1500軒に訴え



革新都政をつくる障害者の会は、20日、御茶ノ水駅前街頭宣伝活動を行いました。これには、視覚障害者や車椅子使用障害者など25人が

参加しました。20日の巣鴨駅前に続き、今回で2回目、宇都宮都政実現への期待で参加者が増え、横断幕も2枚に増やしました。参加者は、宇都宮健児さんに絶対に都知事になってもらいたい、独自の歌をつくり、大きな声で支持を訴えました。そして、新型コロナウイルス拡大に対しても小池都政のパフォーマンスではなく障害者をはじめ都民の生活に寄り添った対を、障害者福祉手当の増額など都の福祉制度継続・発展を、ホームドア設置などまちづくり推進を、など参加者は要求を口々にし、宇都宮都政の実現への期待と願いを訴えました。

原じゅん子江戸川区都議予定候補も参加して「今度こそ宇都宮けんじさんで、障害者の願いが実現する都政をつくりましょう」と話されました。蒸し暑い中でしたが、元気に訴えました。残り1週間ですが、視覚障害者の人たちは、すでに1500件の電話で支持を訴えています。